

## 事業の背景・目的

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の背景や目的、必要性、地域における生物多様性保全上の課題等を簡潔に記載（300文字以内）

鳥海山周辺の湖沼群には、地域固有の水生の絶滅危惧種が多く生息するとされている。しかし、近年の温暖化による降雪量の減少と乾燥化、災害や山林の荒廃による土砂の流入などにより、生息環境が少しずつ悪化し、個体数が減っている可能性がある。そこで、地域固有種コシノハゼの生息状況を調べ、またコシノハゼと同所的に生息する他の希少な在来種も特定する。



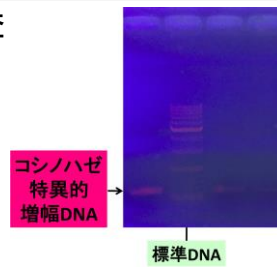
コシノハゼ

## 事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

### 事業① 環境DNAによるコシノハゼ生息調査

- ・コシノハゼが生息する可能性のある湖沼から水採取、環境DNAを抽出して、コシノハゼ特異的増幅DNAを検出し、生息地を推定した。
- ・同所的に生息する他の希少種の生息状況を調査した。



### 事業② コシノハゼ個体群の遺伝的

#### 多様性解析

- ・コシノハゼが多く生息すると推定された湖沼の個体群の遺伝的多様性解析を行う。

・コシノハゼと同所的に生息する他の希少種の生息調査を続ける。

### 事業③ コシノハゼの繁殖状況調査

- ・コシノハゼの遺伝的多様性が高かった生息地で、水中ビデオカメラによる観察等で、繁殖状況を確認する。
- ・コシノハゼと同所的に生息する他の希少種を特定する。

## 得られた成果

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の成果、活動継続の見通し、事業終了後の展開等を簡潔に記載（400文字以内）

・水サンプル由来の環境DNAを用いた生息調査によって、コシノハゼがより多く生息することが推定された生息地を3ヶ所に絞り込んだ。そのうち2ヶ所にはシナイモツゴ、ホトケドジョウ、キタドジョウ、他の1ヶ所にはトミヨ属淡水型、ホトケドジョウなどの希少種が同所的に生息することを確認した。

・コシノハゼの保全管理のために、次年度は3ヶ所の生息地の個体群を対象に、より非侵襲的方法として、各個体の体表粘液からDNAを抽出して、ゲノム

マーカーを検出し、各個体群の遺伝的多様性と個体群間の遺伝的分化の解析を行う。

・コシノハゼ個体群の遺伝的多様性と分化、繁殖状況を確認できた生息地3ヶ所を、将来の保護区候補地とする。

・上記の保護区候補地3ヶ所について関係機関と協議して、コシノハゼと同所的に生息する他の絶滅危惧種の保護区に設定するための準備を進める。